



学校だより

校訓「健康」「自立」「友愛」

北九州市立白銀中学校

校長 梅木 陽一

令和5年7月 No.4

前期前半の締めくくり

前期前半も終わり、いよいよ夏休みです。これまでの間、毎日の学校生活、授業での取り組み、クラスでの進路学習や地元北九州市について調べ発表、部活動での練習など、一生懸命に取り組む姿がありました。真面目に頑張っている人、目標に向けてコツコツと努力を続けている人、そして、友達のこうした努力を素直に応援できる人は素敵です。

教室では様々な場面を目にします。例えば、授業中に勇気を出して発言すること、質問すること、間違えてもいいから手を挙げて発言すること、皆さん一人一人の心の中で、この場面でどうしようという選択をしています。「わからないから、手を挙げて質問しよう」「ここで自分が間違えると恥ずかしいから手を挙げないでおこう」などなど自分の気持ち次第で行動が違ってきます。教室で、失敗することや間違いはOKです。学びに向かうことで先生の話や友人の考え、意見を聞いて学びを広げてほしいと思います。わからないからこそわかったときの喜びを感じることができるのです。

失敗することは成長するチャンスだと思っています。挑戦したからこそ失敗するのです。失敗したことで新たな課題が見え、自分を知ることができます。うまくいかなかったときこそ、自分なりに工夫して、新しい取り組み方を考え前に進んでいけばいいのです。大切なことは失敗を恐れず前に向かう気持ちを忘れないことです。

特に、3年生はこれから受験モードに入ると思います。勉強を努力したからと言ってすぐに成績が向上するわけではありませんが、積み重ねていくうちに自分の課題が見えてきます。何もしなければ自分のことは何も見えてきません。

「**為せば成る為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり**」と言ったのは、江戸時代の米沢藩 上杉鷹山です。

どんなこともやろうと思って努力すれば、実現できる。逆にできないと思ってあきらめ努力しなければ、実現できないという意味です。

これまでの経験をもとに、これからの自分と向き合い、他の人と協働しながらさらに成長していくことを期待しています。暑い夏が本格的にやってきます。引き続き、健康（水分補給や休養、睡眠など感染症熱中症）には十分気を付けてください。

夏休みは、学校生活のある日常生活とは違う環境の中、自分で考え、自分で決めて行動することが多くなります。その時期に皆さんに取り組んでほしいことがあります。「**自分で決めたことは守る。自分でできることはやる**」ということです。自分に挑戦する絶好のチャンスです。残り少ない夏休みを過ごすとき、「今年の夏休みもまたただらだと過ごしてしまい、宿題に追われる日々」という経験が私にもあります。

この夏休みにしかできないことを自分で決めて自分で守り、成し遂げていってほしいと思います。さらに自分自身がひとまわり大きく成長していくことを期待しています。

今後の主な行事予定

8月 2日(水)・3日(木)	生徒会役員 朝倉市を訪問し、防災教育の取組を学ぶ
28日(月)	前期後半スタート 授業開始(全校集会、学活)
29日(火)	課題テスト 給食開始
9月13日(水)～15日(金)	期末考査
10月1日(日)	体育大会